

定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

2026（令和8）年1月26日定例教育委員会が、一宮市立木曾川西小学校図書室に招集された。

1 定例教育委員会議案案件

- 第40号議案 一宮市教育委員会後援名義使用許可基準の一部改正について【継続審議】
第1号議案 シン学校プロジェクト第1期前期対象校（小学校3校）の基本計画について
第2号議案 令和8年度全国学力・学習状況調査の参加について
第3号議案 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて

2 出席委員

高橋教育長 川松委員 武藤委員 吉田委員 大島委員 森委員 吉澤委員

3 欠席委員

無

4 一宮市教育委員会会議規則第15条の規定により出席したものの職氏名

森教育部長 平野教育部次長 伊藤総務課専任課長 小栗総務課専任課長 尾関学校教育課長 岸上学校給食課長 墓越生涯学習課長

5 同上規則第17条の規定により書記として出席したものの職氏名

平山総務課課長補佐 岩田総務課主任

6 傍聴者

無

会 議 て ん 末

高橋教育長（午後1時30分着席、開会を宣言）

ただ今から、1月の定例教育委員会を開催いたします。本日の会議録署名者を吉田委員と武藤委員のお二人にお願いいたします。それでは、12月の定例教育委員会の会議録がお手元に渡っていると思いますが、これについて何かございませんか。

各委員

異議ありません。

高橋教育長

ご異議がないようでございますので、12月の定例教育委員会の会議録について承認いたします。それでは本日の議案の審議に入ります。継続審議となっていました第40号議案 一宮市教育委員会後援名義使用許可基準の一部改正について、ご説明をお願いします。

伊藤総務課専任課長

第40号議案 一宮市教育委員会後援名義使用許可基準の一部改正について、前回から一部修正した上で別紙案を添えて教育委員会の審議に付するものであります。提案理由は、一宮市教育委員会後援名義使用許可基準の条文の整備を行うため、本案を提出するものです。（別紙（案）に基づいて説明）よろしくご審議をお願いいたします。

高橋教育長

何かございませんか。

委員

第2条の許可基準で、地方公共団体が主催又は後援する事業が、愛知県若しくは一宮市が主催又は後援する事業と変わっていますが、他市町の後援は判断材料となるのでしょうか。

伊藤総務課専任課長

後援を決定するための1つの判断材料となることもあります。あくまで本市としての考え方を主として決定していきます。他市町の後援の状況は担当課において参考情報として確認するようにいたします。

高橋教育長

他に何かございませんか。

各委員

賛成いたします。

高橋教育長

全員賛成ですので、継続審議としていた第40号議案 一宮市教育委員会後援名義使用許可基準の一部改正について原案どおり可決いたします。続きまして、第1号議案 シン学校プロジェクト第1期前期対象校（小学校3校）の基本計画について、ご説明をお願いします。

伊藤総務課専任課長

第1号議案 シン学校プロジェクト第1期前期対象校（小学校3校）の基本計画について、別紙案を添えて教育委員会の審議に付するものであります。提案理由は、シン学校プロジェクト第1期前期対象校（小学校3校）の基本計画を決定するため、本案を提出するものです。（別紙（案）に基づいて説明）よろしくご審議をお願いいたします。

高橋教育長

何かございませんか。

委員

各校の予算規模を教えてください。

小栗総務課専任課長

富士小学校は、基本計画段階におきまして、約39億円を想定しています。内訳は、設計費等に約3.1億円、既設校舎の解体に約4.5億円、仮設校舎の工事に約3.4億円、新校舎の建設工事に約28億円を想定しています。大和南小中一貫校は、基本計画段階で約25.4億円を想定しています。内訳は、設計費等に約1.9億円、仮設校舎の工事に約0.7億円、校舎改修工事に約22.8億円を想定しています。小信中島小学校は、基本計画段階で約24.1億円を想定しております。内訳は設計費等に約1.5億円、校舎新築工事に約8.6億円、校舎改修工事に約11億円、校舎解体工事に約2.1億円、外構工事に約0.9億

円を想定しております。

委員

2030年度までの物価上昇をどのように見込んで積算しているのでしょうか。

小栗総務課専任課長

それぞれの事業が行われる時期における物価上昇を想定して積算しております。

委員

大和南小中一貫校の基本計画にある、2018年と2024年のデフレーターを比較して算出した上昇率を他の学校の基本計画でも使用しているという認識でよろしいですか。

小栗総務課専任課長

ご認識のとおりです。

委員

物価が想定以上に上がり総工事費が膨らんだ場合、予算を増やしていくのか、それとも限られた予算で内容を見直しながら進めていくのかどちらになるのでしょうか。

高橋教育長

物価が随分上がってきて、シン学校プロジェクトをスタートする際に想定していた予算規模では大変難しいが、少しでもいい学校づくりをしていこうと議論してきました。そのような議論の中で、工事費が莫大になるということは、税金を投入するということからも難しく、限られた予算の中でより良いものを作っていくことを共通認識としています。必要だからといって予算をどんどん増やせば良いという考え方ではありません。

委員

全体の予算が一定であると、今回の3校より後に工事を行う学校の予算規模が縮小し、公平性を欠くことになると思われます。先々に行われる学校についてもよく考えて計画するべきだと考えます。

森教育部長

一宮市には、市立の小学校と中学校合わせて61校あります。シン学校プロジェクトでは、古さを基準の一つとして考えて対象校を選んでおりますが、5年で3校を建て替えるとした場合、耐用年数が70年と言われていることを考えると、61校を全て建て替えることは難しく、長寿命化が必要だと考えております。市の単独予算をできるだけ減らすために、複合化することで国の補助金、交付金をできるだけもらえるような形で進めていくことや、長寿命化の工事によって耐用年数を100年や120年に延ばすということを考えています。また、学校の再編も考えながら、工事において学校に必要なものを削っていく事になってしまわないように進めていきたいと考えています。

委員

この3つの基本計画の資料はコンサル会社が作成しているのでしょうか。

小栗総務課専任課長

市の考え方等を盛り込んだ上でコンサル会社が基本計画を作成しています。

委員

どの計画書も同じような構成になっていますが、雛形を作って統一された方が今後も比較検討しやすいと思います。

委員

コンサル会社の業務はスケジュールにある実施設計までなののでしょうか。

小栗総務課専任課長

基本計画の作成までが委託したコンサル会社の業務です。

委員

2026年度以降の基本設計や実施設計は、コンサル会社が変わる可能性があるということでしょうか。

森教育部長

予算もお認めいただいていない状況ですので同じとは限りませんが、今回ご審議いただいているものは基本設計にもなっていない段階です。基本計画としてワークショップの中で出てきた草案なので、要求水準等必要な条件を示した上で、基本設計や実施設計を翌年度以降に進めていくための元となるものとお考えください。

委員

シン学校プロジェクトを進めていくにあたって、スケジュールと管理体制について懸念しています。当初示した意思が完成するまで上手く引き継がれていくのかを含め、このプロジェクトのトータル管理を行う部署や担当者が誰かという議論はしていますか。

小栗総務課専任課長

担当部署は総務課になり、総務課の職員が全ての過程に関わる必要があると認識しています。例えば、富士小学校であれば複合化施設として整備していきませんが、今後様々な部署と調整、情報共有しながら、総務課が中心となってこの基本計画に沿って進めていきます。

委員

物価上昇の件など、その時々状況によって当初の計画どおりにはいかず、いろいろご苦労はあるかとは思いますが、くれぐれも関係者の方々のお体には十分留意していただきたいと思います。我々も含めて目指すところは皆さん一緒だと思いますので、全員で協力していければと思います。

委員

小信中島小学校で補助金が3分の1出るとの記載がありましたが、学校関係の国からの補助金は申請すれば採択されるものなののでしょうか。

小栗総務課専任課長

尾張教育事務所からどのような事業を行うかといった調査があります。その際に事業内容について報告し、連携しながら進めています。今まで申請したものに関してはほぼ採択されていますので、連携しながら進めていくことにより今後申請するものも採択されると考えます。

委員

補助金が予定どおり交付されるとして、一宮市自身の財政負担はどれぐらいになるのでしょうか。

森教育部長

文部科学省の管轄である学校施設環境改善交付金という補助は、補助率が3分の1と言われております。しかし、基準単価自体が実質の建築単価よりも低くなっていたり、対象範囲も全部ではなかったりするので、実際の事業費に対して4分の1から5分の1ぐらいの補助になる可能性があります。毎年基準単価が変わるので具体的な金額は言えませんが、計算の仕組みとしてはそのようになっています。また、市で債券を発行した場

合に、その債券に対しての交付金もあります。その交付金についても市全体としての金額は分かりますが、特定の事業に対してどれだけ充てられたのかは分からず、最終的な一宮市の負担額を把握することはできません。

委員

教育委員の立場からすると、シン学校プロジェクトをぜひ進めていただきたいと思います。ですが、一市民の立場からすると工事費の増加に伴い税金が上がることを懸念します。

森教育部長

シン学校プロジェクトを進めることにより税金が上がることはないと考えていただければと思います。学校施設の長寿命化は前から計画的に進めていますが、大震災があった時に耐震を優先しなければいけなくなったとか、大きな社会的な変化に沿って、追加でしなければならない工事が発生し、結果的に日常的に行う工事が遅れていってしまいました。最終的に、シン学校プロジェクトでその部分をここ何年かの中で進めていくというようにご理解をいただければと思います。

委員

まずは、この計画の作成に大変なご尽力をされたことに対して感謝いたします。先ほど学校の統廃合を含む再編についての言及もありましたが、私自身も統廃合について進めていきたいと考えているわけではありませんし、賛成だけではない意見が多い分野であるため、市民と対話をしていくのに時間がかかることだと思えます。再編となると、今回やっていただいた5回に渡っての対話よりもっと多くの時間がかかるはずなので、市民の方と何年かに渡って話していくという長い計画を立てる必要があると思えます。統廃合も視野に検討しないと校舎の劣化には間に合わないという現状が分かるように、市民の皆さんに説明していただくような、マクロの計画を作っていただけないかと思いますがいかがでしょうか。

森教育部長

シン学校プロジェクトを進めるにあたり、学校区を再編していくということが喫緊の課題だと考えています。学校区の再編計画を立てたいいくつかの市町について計画の進捗状況を確認したところ、市全域で再編計画を作ったとしても10年ぐらい動かない地区もあり、地域での危機感を持っていただくことが一番の課題であると聞いております。シン学校プロジェクトでは、そうした危機感を持った提案をしていただければ優先して採択しますと言っております。単学級や複式学級になることによって子供たちが不利益を被ることのないように、学校を再編することによって子供たちの未来を守りたいというような意識を地域として持っていただきたいと考えています。そうした地域には、地域に全部丸投げすることはなく、地域の人々の合意を得た上で要望していただければ、我々はそれに沿った形でプランを考えていきます。市が一方的に決めるのではなく、意見をいただいて同じテーブルの上に立ち、キャッチボールをしながら共通課題を持った上で方向性を決めてまいります。決まるまでが一番難しいと考えていますので、地元の同意や方向性を決めることに時間を使っていきたいと思っています。

高橋教育長

ここで一旦休憩を取ります。

5分間の休憩

高橋教育長

それでは再開いたします。この3つの基本計画について、ご質問、ご意見ございませんか。

各委員

賛成いたします。

高橋教育長

全員賛成ですので、第1号議案 シン学校プロジェクト第1期前期対象校（小学校3校）の基本計画について原案どおり可決いたします。続きまして、第2号議案 令和8年度全国学力・学習状況調査の参加について及び第3号議案 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについては関連がありますので、一括で審議します。ご説明をお願いします。

尾関学校教育課長

第2号議案 令和8年度全国学力・学習状況調査の参加について、別紙案を添えて教育委員会の審議に付するものであります。提案理由は、一宮市立小中学校の令和8年度全国学力・学習状況調査の参加について、教育委員会の議決を求めるため、本案を提出するものです。（別紙実施要領に基づいて説明）続きまして、第3号議案 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて、別紙案を添えて教育委員会の審議に付するものであります。提案理由は、令和8年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて、教育委員会の議決を求めるため、本案を提出するものです。（別紙（案）に基づいて説明）よろしくご審議をお願いいたします。

高橋教育長

何かございませんか。

委員

前は3年に1度の理科が対象となっていたと記憶しております。今回は英語が入っておりますが、英語も対象となったのでしょうか。

尾関学校教育課長

英語についても理科と同様に来年が3年に1度の年となっております。

委員

社会も3年に1度という周期で対象となるのでしょうか。

尾関学校教育課長

現在のところ国から示されている教科は国語と算数と数学が毎年、理科と英語が3年に1度とされており、社会については対象となっております。

委員

文部科学省からの要領に公表の仕方が記載されていると思いますが、具体的な公表の仕方は各教育委員会に委ねられており、一宮市はその内容が第3号議案の内容であるという解釈でよろしいでしょうか。

尾関学校教育課長

ご認識のとおりです。実施要領の9ページに公表にあたって配慮すべき事項が6点挙げられており、その6点の配慮事項に沿った形で行おうとしますと、数値は出せないようになっております。各個人や各学校には細かいデータが反映されますので、教職員や子ども達の今後の取組に活用してもらっています。

高橋教育長

数値を公表する自治体もありますが、公表することによって様々な意見が飛び交い、比較に重きが置かれてしまいます。授業改善等とは違うところにエネルギーが注がれることにならないようにと考えています。

委員

デジタルデータについては今後ますます取扱いが難しくなりますので、慎重な対応をお願いします。一宮市の公表の仕方については令和7年度と変わらないということでしょうか。

尾関学校教育課長

ご認識のとおりです。

高橋教育長

他に何かございませんか。

各委員

賛成いたします。

高橋教育長

全員賛成ですので、第2号議案 令和8年度全国学力・学習状況調査の参加について及び第3号議案 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて原案どおり可決いたします。以上をもちまして、本日の審議を終わります。次に報告事項をお願いいたします。

報 告 事 項

伊藤総務課専任課長

一宮市教育委員会後援名義の使用許可について

尾関学校教育課長

中学生未来リーダー育成塾について、卒業式参列の案内について、一宮市立小中学校働き方改革ロードマップについて

そ の 他

伊藤総務課専任課長

2月・3月・4月・5月の定例教育委員会の日程について、2月の総合教育会議の日程について、小・中学校卒業式の日程について、辞令伝達式の日程について、小・中学校入学式の日程について

閉 会 宣 言

高橋教育長

これもちまして、本日の会議を終わります。

以上、会議のてん末を記録し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

教 育 長

委 員

委 員